

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動

【大雪土地改良区】

用水路の名称 近文幹線用水路

報告書



点検調査 ; 平成22年7月20日(火)、10月13日(水)

調査グループ ; 道北グループ

調査員 ;	赤石 勝美	稻場 俊二	大野 忍	金山 慎一
	北 潔	小林 昭夫	猿田 鉄雄	杉本 信行
	鈴木 俊一	曾我部 巡	中川 隆文	松田 啓
	松本 登	吉田 裕二		

総括

用水路の名称 近文幹線用水路 管理者 大雪土地改良区

用水路の所在地 鷹栖町

調査グループ名 道北グループ

見回り・点検年月日 平成 22 年 7 月 20 日 (火)、10 月 13 日 (水)

調査員 ①第 1 回 (7 月 20 日)

赤石 勝美 大野 忍 杉本 信行 鈴木 俊一 曽我部 巡
中川 隆文 松田 啓 松本 登
北海道農政部農村整備課 水上主査
上川総合振興局農村振興課 貞吉係長、
北海道土地改良団体連合会 三沢主幹

②第 2 回 (10 月 13 日)

稻場 俊二 大野 忍 金山 慎一 北 潔 小林 昭夫
猿田 鉄雄 杉本 信行 松田 啓 松本 登 吉田 裕二

1. 調査概要等

【要請内容】

- 本幹線用水路は、道営かんがい排水事業近文地区として、昭和 46 年～昭和 53 年に施工されたものである。 (全長 $L=3,004.5m$)
- 一部において、水路にたわみが生じ、2～3 年前に切梁にて対処している。 (2ヶ所 $L=20m$ 程度。写真参考)
- 現在、切梁をかけている箇所については、落水後改修 (補修) することとしているが、発生原因等 (凍上又は土圧等) が明白でないため専門的な技術者に施設点検を行って頂き、指導助言をお願いしたい。
- また、同路線の中にも同様な (たわみ) 部分があると思われるが改良区では把握していないため、併せて調査、点検をお願いしたい。

【点検施設】

近文幹線用水路 $L=1 km$ S50 年頃整備 L型ブロック工法



【活動内容】

①第1回現地調査（通水時） 7月20日

- ・詳細な調査は、落水後に行うこととし、事前に通水時の状況を確認することとした。
- ・今年度、改修予定ヶ所（前ページ写真の「切梁をかけている部分」）を確認し、そこより上流側、下流側の2班に分け、点検を行った。
- ・点検活動は、農村整備課水上主査、上川総合振興局貞吉係長他から、現地において指導・助言を受けている。

【用水路等の概況】

- ・用水路は築造後約35年程度経過しているが、全体的にしっかりしている。（特に、下流部）
- ・しかし、コンクリート二次製品で部材も薄く、流水による表面モルタル分の剥離も見られ、部分的には用水路側壁の傾倒、目地の欠落（目地の補修）、L型ブロックのクラックなども見受けられる。



②第2回現地調査（落水時） 10月13日

- ・メジャー等を用いて、上幅などの変位の状況を確認した。
- ・通水時には判らなかった「ウィープホール」や目地部の補修状況を確認した。



1. SP24, 500付近
右(山側)1:0.2 左1:0.3



2. SP24, 550付近
上幅 2,580→2,360 mm
右(山側) 1:0.06 左1:0.25



3. SP25, 400付近
右、左とも1:0.3
変位、傾斜とも以上なし

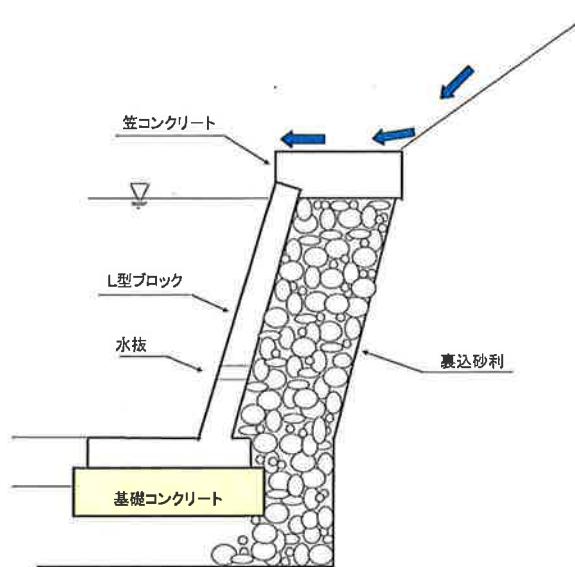


2. 発生原因等

L型ブロックのたわみ（水路側への傾き）、笠コンクリートの落下、傾きは、L型ブロック背面部の土砂の流防と凍上・土圧が複合して作用したものと思われる。そのメカニズムは、以下の通りと考えられる。

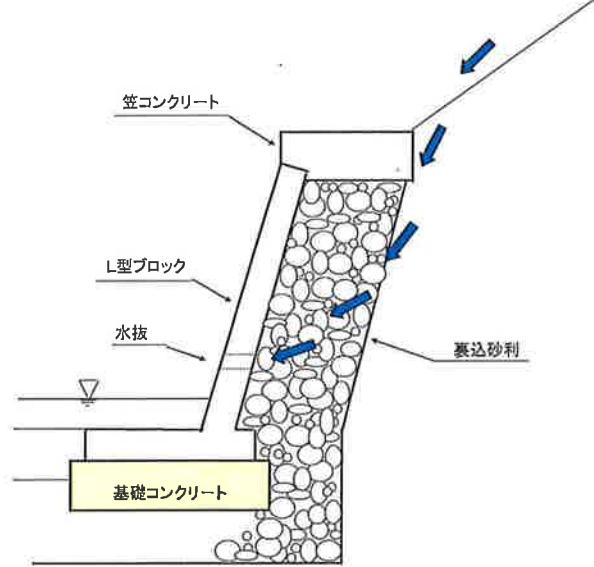
【整備直後】

整備直後は、地表水等は表面を流下。裏込め部にも滯水。



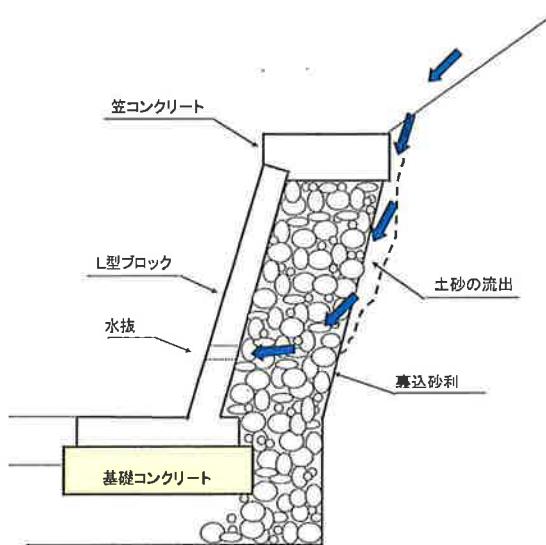
【第1段階】

落水に伴い、裏込め部分の滯水が排水、地表水が裏込め部を流下



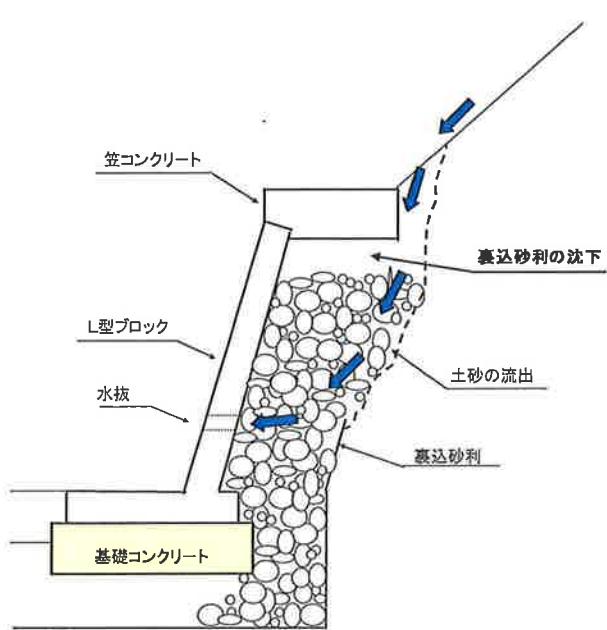
【第2段階】

地表水の裏込めの流下が常態化し、それに伴い背面土砂が流失



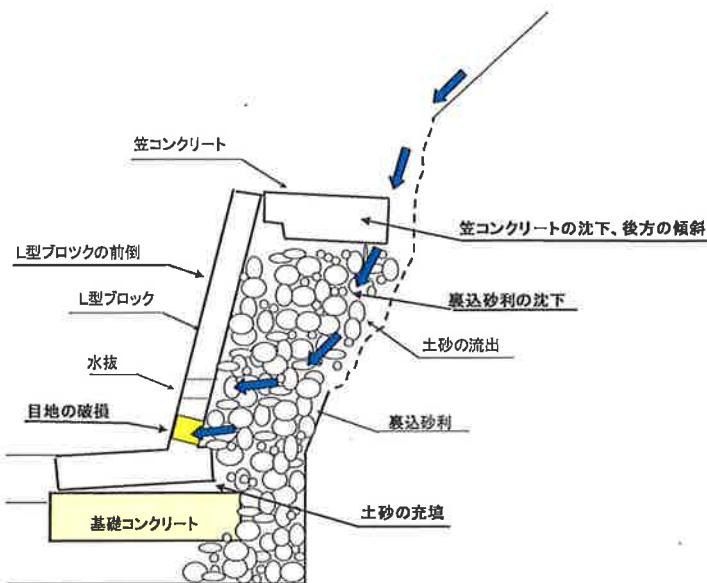
【第3段階】

背面土砂の流出の進行し、裏込砂利が沈下



【第4段階－現在】

- ・ 裏込砂利が沈下し、笠コンクリートの支えがなくなり、笠コンクリートが沈下、後方への傾斜
- ・ 裏込砂利に土砂が混入、凍上に対する抵抗力を喪失
- ・ 凍上・土圧が作用し、L型ブロックが前倒、目地の破壊



【工事中の写真】

本年度に改修工事中でのLブロック状況確認

- ・ 裏込砂利部の空洞化
- ・ 裏込砂利への土砂の混入
- ・ L型ブロックの前倒、底版下面部への土砂の混入



【防災及び機能保全対策】

防災及び機能保全対策としては、現状で特に大きな支障が無いように見られる。

付帯構造物(函渠工等)は現場打ちコンクリートであり機能的にも問題ないものと判断される。

通水断面部のL型ブロック及び河床部コンクリート部は、経年変化による劣化が進んでいる。

2. 改修工法

L型ブロックの傾倒が進み、自立しなくなった部分の改修工事や、目地の補修など小規模な維持管理工事で対応することで問題は無いと考えられる。

【その他の意見等】

経年変化による劣化は進んでいる。

1型水路、2型水路の右側、3型水路の SP25,800～SP26,050 区間の右（町道）側については、全面改修を行う時期に近づいていると考えられる。（一部、改修済み区間を除く。）

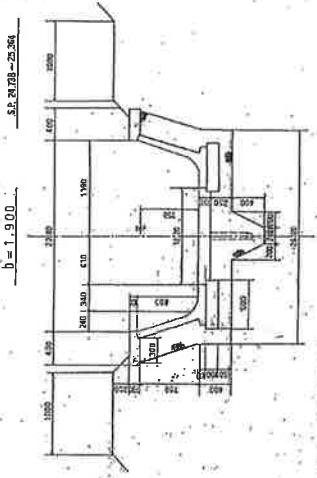
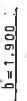
国営等農地整備事業の地域合意が図られれば、この事業により全面改修することが望ましいと考える。なお、この事業の合意形成が図れないとしても、全面改修を行う時期が近いと考えられるため、当面は、必要最小限の補修で対応することが望ましい

【添付資料等】 点検結果票

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

		点検実施者		道北クルーフ	点検日	平成22年7月20日
		No. 1				
水路工名	1型ブロック工	建設年次	昭和47年	付帯工 8ヶ所	付帯工内訳	*6号川放水路 L=17.27m SP 24,420 *橋梁工 L= 6.15m SP 24,566 *橋梁工 L= 4.66m SP 24,725.5 *橋梁工 L=28.08m Σ L=28.08m
対象箇所番号	2	水路幅	2.10m		付帯工内訳	*6号川放水路 L=17.27m SP 24,420 *橋梁工 L= 6.15m SP 24,566 *橋梁工 L= 4.66m SP 24,725.5 *橋梁工 L=28.08m Σ L=28.08m
区間区分	1型水路	実区间長	297.91m		付帯工内訳	*6号川放水路 L=17.27m SP 24,420 *橋梁工 L= 6.15m SP 24,566 *橋梁工 L= 4.66m SP 24,725.5 *橋梁工 L=28.08m Σ L=28.08m
区間長	L= 325.99m	控除長	Σ L=28.08m		付帯工内訳	*6号川放水路 L=17.27m SP 24,420 *橋梁工 L= 6.15m SP 24,566 *橋梁工 L= 4.66m SP 24,725.5 *橋梁工 L=28.08m Σ L=28.08m
<p>【10月13日現地調査】 SP24550付近 右(山側)1:0. 2 左1:0. 3 上幅 2.580~2.360 右(山側)1:0. 06 左1:0. 25</p> <p>事前現地確認(番号13~39)</p> <p>13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39</p> <p>13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39</p>						

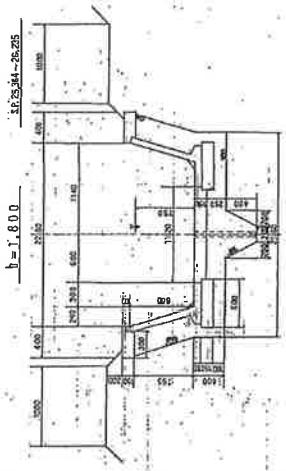
平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

				点検実施者	道北グループ	点検日	平成22年7月20日
							No 2-1
水路工名 対象面番号 区分	L型ブロック工 2・3・4 2型水路 L= 637.90m 区間長 SP24.738.00～SP25.812.19 SP25.167.19～SP25.603.40 SP25.236.50～SP25.364.00	建設年次 付帯工 水路幅 実区間長 SP24.812.19～SP25.167.19 Brake SP25.603.4～SP25.236.55 Chain	昭和47年、平成2、3年 17ヶ所 1.90m L= 589.90m 控除長 Σ L=48.80m SP24.812.19～SP25.167.19 SP25.603.4～SP25.236.55	【付帯工内訳】 -5号BOXカルバート -4号BOXカルバート -3号BOXカルバート -2号BOXカルバート -1号BOXカルバート L= 6.0m SP 24.830.85 L= 10.0m SP 24.886.5 L= 7.0m SP 24.961.35 L=20.0m SP 25.154.35 L= 5.0m SP 25.227.12 Σ L=48.00m	*No133分水工 φ150 SP 24.806 *No134分水工 φ200 SP 25.238.1 *流入工 φ300 (R) SP 24.795 SP 24.810 SP 25.215 SP 25.247 *流入工 φ450 (R) SP 25.135 SP 25.166 SP 25.171		
対象図面番号 区 区分							
区間長 SP24.738.00～SP25.812.19 SP25.167.19～SP25.603.40 SP25.236.50～SP25.364.00							
【9月7日 改修工事写真】				着手前 施工中			
				  			
7月20日現地調査				    			
事前現地確認(番号40～71)				    			
	   						

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

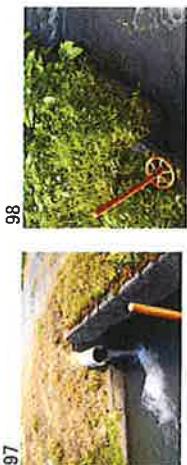
		点検実施者		道北グループ		点検日		平成22年7月20日																							
No 2-2																															
水路工事番号 区分		L型ブロック工 2・3・4	建設年次 2型水路	昭和47年、平成2.3年 水路幅 1.90m	【付帯工内訳】 *5号BOXカルバート *4号BOXカルバート *3号BOXカルバート *2号BOXカルバート *1号BOXカルバート		L= 6.0m SP 24.830.85 L= 10.0m SP 24.886.5 L= 7.0m SP 24.961.35 L= 20.0m SP 25.154.35 L= 5.0m SP 25.227.12 $\Sigma L = 48.00m$		*No133分水工 Φ 150 *No134分水工 Φ 200 *流入工 Φ 300 (R) SP 24.795 SP 24.810 SP 24.881 SP 24,922 *流入工 Φ 450 (R) SP 25.135 SP 25.166 SP 25.171																						
区間長		SP24.738.00～SP24.812.19 SP25.167.19～SP25.603.40 SP25.236.50～SP25.364.00	実区间長 SP24.812.19～25.167.19 Brake SP25.603.4～25.248.4-(日)25.236.5 Chain	控除長 $\Sigma L = 48.80m$																											
56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71																

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

		点検実施者		道北グループ		点検日		平成22年7月20日	
								No 3-1	
水路工名 対象面番号 区分		L型ブロック工 4・5 3型水路	建設年次 付帯工 幅 水路 幅	昭和46年 19 ヶ所 1.80m	・橋梁工 L= 3.6m 不施行 SP 25,497 ・橋梁工 L= 4.5m SP 25,606 ・橋梁工 L= 6.5m SP 25,788 ・橋梁工 L= 6.7m SP 25,827 ・橋梁工 L= 7.29m SP 26,073.30 ・橋梁工 L= 4.5m SP 26,232 ・橋梁工 L= 33.09m Σ = 33.09m	・取付工 L= 13.85m SP 25,872.85 ・取付工 L= 13.85m SP 26,147.89 Σ L= 27.70m	・No 135分水工 Φ 150 SP 25,450 ・No 136分水工 Φ 400 SP 25,489 ・No 137分水工 Φ 350 SP 25,505 ・No 138分水工 Φ 350 SP 25,609 ・No 138-1分水 Φ 200 SP 25,670 ・No 139分水工 Φ 250 SP 25,791 ・No 140分水工 Φ 350 SP 26,235		
区間長		L= 863.02m	実区間長	L= 802.30m Σ = 60.79m	・流入工 V300 (R) SP 26,080 SP 26,235 ・横断暗渠工 Φ 600 SP 25,514.15 ・横断暗渠工 Φ 1000 SP 25,697				
		SP25,364.00～SP26,112.02 SP26,120.00～SP26,235.00	Brake Chain	SP26,112.02=SP26,120.00 7.98m減					
<p>【10月13日現地調査】 SP25,400付近 (変移、傾斜ともなし) 右、左とも1:0.3</p>  <p>7月20日現地調査</p> <p>事前現地確認(番号72～99)</p> <p>72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95</p> <p>SP26,000付近 左 1:0.3 右(町道側) 1:0.2 町道側は傾斜している</p>									

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

		点検実施者		道北グルーブ		点検日	平成22年7月20日
						No 3-2	
水路工名 対象面番号 区分	L型ブロック工 4・5 3型水路	建設年次 付帯工 幅	昭和46年 19ヶ所	[付帯工内訳]		SP 25.497 SP 25.872.85 SP 26.147.89 $\sum L = 27.70m$	SP 25.450 SP 25.489 SP 25.505 SP 25.609 SP 25.670 SP 25.791 SP 26.235
				*橋梁工 L= 3.6m *橋梁工 L= 4.5m SP 25.606	*橋梁工 L= 4.5m SP 25.788		
区間長	L= 863.02m SP25.364.00～SP26.112.02 SP26.120.00～SP26.235.00	実区間長 控除長	L= 802.30m ΣL= 60.79m	*橋梁工 L= 6.5m SP 25.827		SP 26.080 SP 26.235	SP 25.14.15 SP 25.697 $\sum L = 33.09m$
				*橋梁工 L= 6.7m SP 26.073.30	*橋梁工 L= 7.29m SP 26.232		
				*橋梁工 L= 4.5m SP 26.232		SP 25.514.15 SP 25.697 $\sum L = 33.09m$	SP 25.450 SP 25.489 SP 25.505 SP 25.609 SP 25.670 SP 25.791 SP 26.235
				*橋梁工 L= 4.5m SP 26.232			

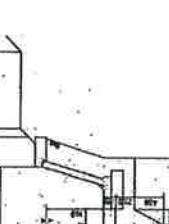
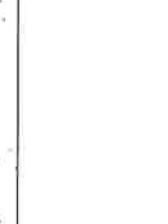
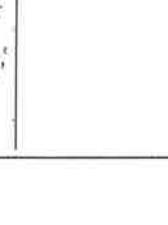
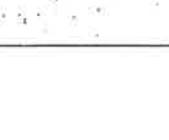
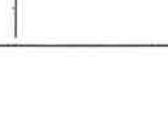
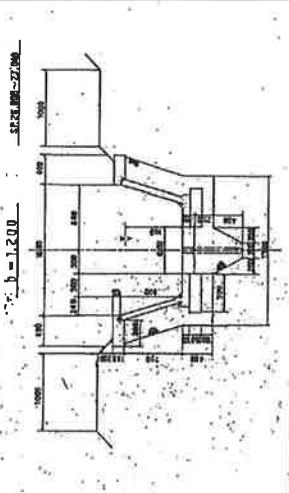


96	
97	
98	
99	

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

点検実施者		道北グルーブ		点検日	平成22年7月20日																																					
No 4																																										
<table border="1"> <tr> <td>水路工工名 対象面番号 区分</td> <td>L型ブロック工 4型水路</td> <td>建設年次 付帯工 水路幅</td> <td>昭和46年、48年 21ヶ所 SP 26.322</td> <td>[付帯工内訳] ・橋梁工 L= 4.5m SP 26.322 ・橋梁工 L= 6.06m SP 26.517 ・橋梁工 L= 21.0 m SP 26.650 ・橋梁工 L= 10.0 m SP 26.760 ・橋梁工 L= 7.0 m SP 26.801 $\sum L = 48.21\text{m}$</td> <td>*3号川放水工 L= 9.2 m SP 26.322.24 *2号川放水工 L= 14.0 m SP 26.733 *取付工 L= 11.05m SP 26.314.77 *取付工 L= 13.96 m SP 26.383.25 *流入工 V3000 SP 26.325 *流入工 V400 SP 26.663 $\sum L = 48.56\text{m}$</td> </tr> <tr> <td>区間長</td> <td>L= 732.80m</td> <td>実区間長</td> <td>$L = 636.03\text{m}$</td> <td></td> <td>*No141分水工 $\Phi 200$ SP 26.325 *No142分水工 $\Phi 300$ SP 26.808 *No143分水工 $\Phi 250$ SP 26.669 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.413 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.638 $\sum L = 48.21\text{m}$</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SP26.235.00~SP26.396.22 SP26.236.42~SP26.308.00</td> <td>Brake Chain</td> <td>SP26.396.22=SP26.236.42 159.80m</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		水路工工名 対象面番号 区分	L型ブロック工 4型水路	建設年次 付帯工 水路幅	昭和46年、48年 21ヶ所 SP 26.322	[付帯工内訳] ・橋梁工 L= 4.5m SP 26.322 ・橋梁工 L= 6.06m SP 26.517 ・橋梁工 L= 21.0 m SP 26.650 ・橋梁工 L= 10.0 m SP 26.760 ・橋梁工 L= 7.0 m SP 26.801 $\sum L = 48.21\text{m}$	*3号川放水工 L= 9.2 m SP 26.322.24 *2号川放水工 L= 14.0 m SP 26.733 *取付工 L= 11.05m SP 26.314.77 *取付工 L= 13.96 m SP 26.383.25 *流入工 V3000 SP 26.325 *流入工 V400 SP 26.663 $\sum L = 48.56\text{m}$	区間長	L= 732.80m	実区間長	$L = 636.03\text{m}$		*No141分水工 $\Phi 200$ SP 26.325 *No142分水工 $\Phi 300$ SP 26.808 *No143分水工 $\Phi 250$ SP 26.669 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.413 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.638 $\sum L = 48.21\text{m}$		SP26.235.00~SP26.396.22 SP26.236.42~SP26.308.00	Brake Chain	SP26.396.22=SP26.236.42 159.80m																									
水路工工名 対象面番号 区分	L型ブロック工 4型水路	建設年次 付帯工 水路幅	昭和46年、48年 21ヶ所 SP 26.322	[付帯工内訳] ・橋梁工 L= 4.5m SP 26.322 ・橋梁工 L= 6.06m SP 26.517 ・橋梁工 L= 21.0 m SP 26.650 ・橋梁工 L= 10.0 m SP 26.760 ・橋梁工 L= 7.0 m SP 26.801 $\sum L = 48.21\text{m}$	*3号川放水工 L= 9.2 m SP 26.322.24 *2号川放水工 L= 14.0 m SP 26.733 *取付工 L= 11.05m SP 26.314.77 *取付工 L= 13.96 m SP 26.383.25 *流入工 V3000 SP 26.325 *流入工 V400 SP 26.663 $\sum L = 48.56\text{m}$																																					
区間長	L= 732.80m	実区間長	$L = 636.03\text{m}$		*No141分水工 $\Phi 200$ SP 26.325 *No142分水工 $\Phi 300$ SP 26.808 *No143分水工 $\Phi 250$ SP 26.669 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.413 *流入工 $\Phi 300$ SP 26.638 $\sum L = 48.21\text{m}$																																					
	SP26.235.00~SP26.396.22 SP26.236.42~SP26.308.00	Brake Chain	SP26.396.22=SP26.236.42 159.80m																																							
<table border="1"> <tr> <td>事前現地確認(番号100~135)</td> <td>100</td> <td>101</td> <td>102</td> <td>103</td> <td>104</td> <td>105</td> <td>106</td> <td>107</td> <td>108</td> <td>109</td> <td>110</td> <td>111</td> <td>112</td> <td>113</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>116</td> <td>117</td> <td>118</td> <td>119</td> <td>120</td> <td>121</td> <td>122</td> <td>123</td> <td>124</td> <td>125</td> <td>126</td> <td>127</td> <td>128</td> <td>129</td> <td>130</td> <td>131</td> <td>132</td> <td>133</td> <td>134</td> <td>135</td> </tr> </table>						事前現地確認(番号100~135)	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
事前現地確認(番号100~135)	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135						

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

点検実施者	道北グルーブ	点検日	平成22年7月20日																								
No 5																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">水路工名</td> <td colspan="3">L型ブロック工</td> </tr> <tr> <td>対象面番号</td> <td>7</td> <td>建設年次</td> <td>昭和48年</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>5型水路</td> <td>付帯工</td> <td>4ヶ所</td> </tr> <tr> <td>区間長</td> <td>L=241.00m</td> <td>水路幅</td> <td>1.20m</td> </tr> <tr> <td>区間長</td> <td>SP26.808.00～SP27.049.00</td> <td>実区間長</td> <td>L=233.40m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>控除長 $\Sigma L=7.60m$</td> </tr> </table>				水路工名	L型ブロック工			対象面番号	7	建設年次	昭和48年	区分	5型水路	付帯工	4ヶ所	区間長	L=241.00m	水路幅	1.20m	区間長	SP26.808.00～SP27.049.00	実区間長	L=233.40m				控除長 $\Sigma L=7.60m$
水路工名	L型ブロック工																										
対象面番号	7	建設年次	昭和48年																								
区分	5型水路	付帯工	4ヶ所																								
区間長	L=241.00m	水路幅	1.20m																								
区間長	SP26.808.00～SP27.049.00	実区間長	L=233.40m																								
			控除長 $\Sigma L=7.60m$																								
<p style="text-align: center;">[付帯工内訳]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">構築工</td> <td colspan="3">L=7.60 m SP 27.039</td> </tr> <tr> <td>実区間長</td> <td colspan="3">Φ 300</td> </tr> <tr> <td>実区間長</td> <td colspan="3">SP 26.917</td> </tr> <tr> <td>実区間長</td> <td colspan="3">SP 26.992</td> </tr> </table>				構築工	L=7.60 m SP 27.039			実区間長	Φ 300			実区間長	SP 26.917			実区間長	SP 26.992										
構築工	L=7.60 m SP 27.039																										
実区間長	Φ 300																										
実区間長	SP 26.917																										
実区間長	SP 26.992																										
<p style="text-align: center;">*No144分水工 Φ 250 SP 27.049</p>																											
                   																											
<p style="text-align: center;">事前現地確認(番号135～148)</p>																											
																											

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

		点検実施者		道北グルーブ	点検日	No 6-1																																																																													
						平成22年7月20日																																																																													
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">水路工名</td> <td>L型フロック工</td> <td>建設年次</td> <td>昭和48年、51年</td> <td colspan="2">[付帯工内訳]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">対象面番号</td> <td>7・8・9</td> <td>付帯工</td> <td>13ヶ所</td> <td colspan="2">・橋梁工 L= 8.0 m SP 27,433</td> </tr> <tr> <td colspan="2">区分</td> <td>6型水路</td> <td>水路幅</td> <td>0.80m</td> <td colspan="2">・函渠工 L= 8.0 m SP 181.60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">区間長</td> <td>L= 703.75m</td> <td>実区间長</td> <td>L= 4.5 m SP 272.54</td> <td colspan="2">・函渠工 L= 4.5 m SP 191.30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">SP27.049.00～SP27.444.00</td> <td>SP27.000～SP308.75</td> <td>排水工</td> <td>L= 7.0 m SP 27,440</td> <td colspan="2">・放水工 L= 7.0 m SP 269.67</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Brake</td> <td>Chain</td> <td>架盤工</td> <td>L= 3.05 m SP 292.93</td> <td colspan="2">・架盤工 L= 3.05 m SP 292.93</td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">Σ L= 48.56m</td> </tr> </table>							水路工名		L型フロック工	建設年次	昭和48年、51年	[付帯工内訳]		対象面番号		7・8・9	付帯工	13ヶ所	・橋梁工 L= 8.0 m SP 27,433		区分		6型水路	水路幅	0.80m	・函渠工 L= 8.0 m SP 181.60		区間長		L= 703.75m	実区间長	L= 4.5 m SP 272.54	・函渠工 L= 4.5 m SP 191.30		SP27.049.00～SP27.444.00		SP27.000～SP308.75	排水工	L= 7.0 m SP 27,440	・放水工 L= 7.0 m SP 269.67		Brake		Chain	架盤工	L= 3.05 m SP 292.93	・架盤工 L= 3.05 m SP 292.93		Σ L= 48.56m																																		
水路工名		L型フロック工	建設年次	昭和48年、51年	[付帯工内訳]																																																																														
対象面番号		7・8・9	付帯工	13ヶ所	・橋梁工 L= 8.0 m SP 27,433																																																																														
区分		6型水路	水路幅	0.80m	・函渠工 L= 8.0 m SP 181.60																																																																														
区間長		L= 703.75m	実区间長	L= 4.5 m SP 272.54	・函渠工 L= 4.5 m SP 191.30																																																																														
SP27.049.00～SP27.444.00		SP27.000～SP308.75	排水工	L= 7.0 m SP 27,440	・放水工 L= 7.0 m SP 269.67																																																																														
Brake		Chain	架盤工	L= 3.05 m SP 292.93	・架盤工 L= 3.05 m SP 292.93																																																																														
Σ L= 48.56m																																																																																			
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">事前現地確認(番号149～191)</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>149</td> <td>150</td> <td>151</td> <td>152</td> <td>153</td> <td>154</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>155</td> <td>156</td> <td>157</td> <td>158</td> <td>159</td> <td>160</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>161</td> <td>162</td> <td>163</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>166</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>167</td> <td>168</td> <td>169</td> <td>170</td> <td>171</td> <td>172</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>173</td> <td>174</td> <td>175</td> <td>176</td> <td>177</td> <td>178</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							事前現地確認(番号149～191)							149	150	151	152	153	154									155	156	157	158	159	160									161	162	163	164	165	166									167	168	169	170	171	172									173	174	175	176	177	178								
事前現地確認(番号149～191)																																																																																			
149	150	151	152	153	154																																																																														
155	156	157	158	159	160																																																																														
161	162	163	164	165	166																																																																														
167	168	169	170	171	172																																																																														
173	174	175	176	177	178																																																																														

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

		点検実施者		道北グルーブ	点検日	No 6-2			
						平成22年7月20日			
水路工名 対象面番号 区分 区間長		L型ブロック工 7・8・9 6型水路 L= 703.75m SP27.049.00～SP27.444.00 SP0.00～SP208.75		建設年次 付帯工 水路幅 実区間長 SP27.049.00～SP27.444.00 Chain	昭和48年、51年 13ヶ所 0.80m L= 673.20m 控除長 $\Sigma L= 30.55m$ $\sum L= 48.56m$	[付帯工内訳] 橋梁工 L= 8.0 m SP 27.433 ・函渠工 L= 8.0 m SP 181.60 ・函渠工 L= 4.5 m SP 272.54 ・放水工 L= 7.0 m SP 27.440 ・渠端工 L= 3.05 m SP 292.93	*No145分水工 Φ250 SP 27.2/3 *No146分水工 Φ150 SP 11.2 *No147分水工 Φ200 SP 191.30 *No148分水工 Φ200 SP 269.67	*流入工 Φ300 SP 27.068 SP 227153 SP 27.229.5	
177	178	179	180	181	182	183	184		
185	186	187	188	189	190	191			

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動記録票

					No 7																			
					点検実施者 道北グルーブ																			
					点検日 平成22年7月20日																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>水路工名</th> <th>V-700ブロック工</th> <th>建設年次</th> <th>付帯工</th> <th>【付帯工内訳】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象画面番号 区分</td> <td>9</td> <td></td> <td>水路幅</td> <td>0.70m</td> </tr> <tr> <td>区間長</td> <td>SP308.75~SP1165.80</td> <td>実区間長</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">Brake Chain</td> </tr> </tbody> </table>					水路工名	V-700ブロック工	建設年次	付帯工	【付帯工内訳】	対象画面番号 区分	9		水路幅	0.70m	区間長	SP308.75~SP1165.80	実区間長			Brake Chain				
水路工名	V-700ブロック工	建設年次	付帯工	【付帯工内訳】																				
対象画面番号 区分	9		水路幅	0.70m																				
区間長	SP308.75~SP1165.80	実区間長																						
Brake Chain																								
<p>事前現地確認(番号192~211)</p> <p>水路工 5-1 5-1 6-17 SP308.75 ~ 1165.80</p>																								
192	193	194	195	196	201	208																		
197	198	199	200		207																			
202	203	204	205	206	209	210																		
209	210	211																						